

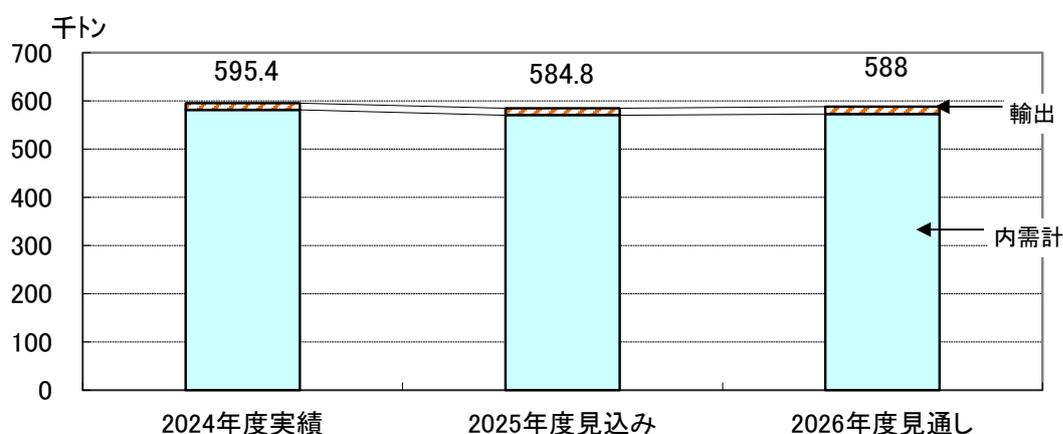
2026年度 電線需要見通し概要

2026年3月
調査統計専門委員会

1. 2026年度需要見通しの前提

実質GDP成長率	+0.9%
民間最終消費支出	+1.0%
民間住宅投資	+1.1%
民間企業設備投資	+1.6%
鉱工業生産指数	+1.5%

2. 2026年度電線需要予測結果



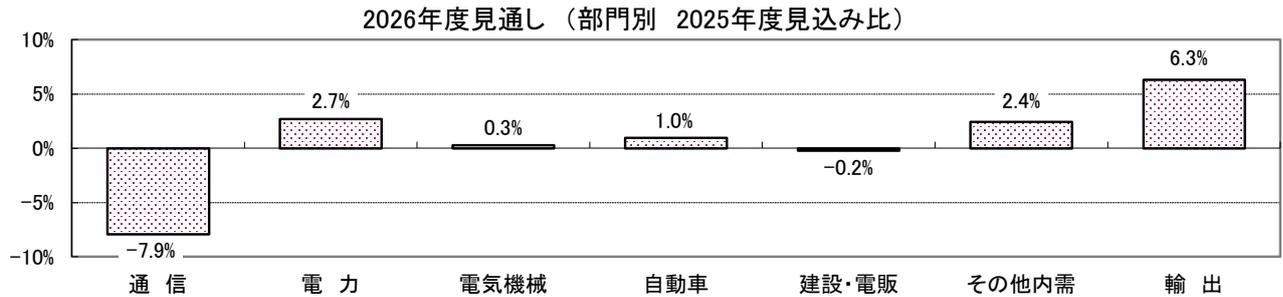
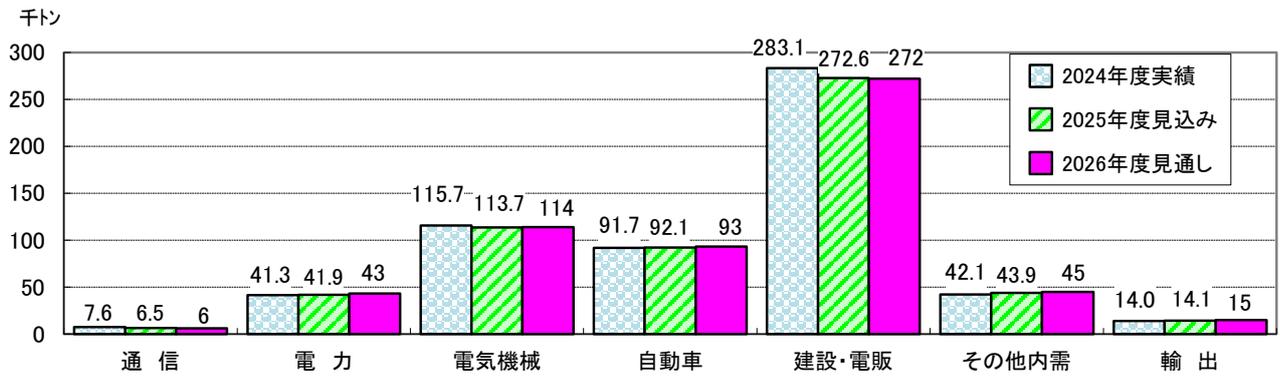
単位:千トン

銅電線	2024年度実績	2025年度見込み	25/24 伸び率	2026年度見通し	26/25 伸び率
内 需	581.4	570.7	-1.8%	573	0.4%
輸 出	14.0	14.1	0.6%	15	6.3%
合 計	595.4	584.8	-1.8%	588	0.6%

単位:千トン

アルミ電線	2024年度実績	2025年度見込み	25/24 伸び率	2026年度見通し	26/25 伸び率
合 計	24.2	25.6	6.1%	27	5.4%

3. 2026年度需要部門別出荷見通し



部門	コメント
通信	2025年度は、通信インフラ環境の光化により、メタルケーブル全般的に大きな需要はなく、2024年度比-13.7%と見込む。 2026年度は、通信インフラ環境の光化が継続し、メタルケーブル需要は減少とみて2025年度見込み比-7.9%と予測する。
電力	2025年度は、施工人員不足による制約はあるが、設備更新、データセンターや半導体工場への供給需要により、2024年度比+1.3%と見込む。 2026年度も、施工人員不足による工事制約はあるが、経年品の設備更新や、データセンターへの供給需要を見込み、2025年度見込み比+2.7%と予測する。
電気機械	2025年度は、半導体製造装置、FAロボット、医療、DX関連向けで電子・通信部門は増と見るが、個人消費が振るわなかった家電部門や、自動車生産台数減の影響で電装品部門が減少、2024年度比-1.7%と見込む。 2026年度は、家電部門においては大きな需要は期待できないものの、CASEの進展で電装品部門は増加、2025年度見込み比+0.3%と予測。
重電	2026年度は、AI普及による電力需要増等により、変圧器向けなどの設備投資や更新が見込まれ、2025年度見込み比+2.3%と予測する。
家電	2026年度も、国内回復要因は乏しく2025年度見込み比-7.5%と予測する。
電子・通信	2026年度は、引き続き半導体製造装置、FAロボット、医療、DX関連向け需要が下支えとなるも、電子機器の小型化、電子回路の集積化による需要減も見込まれ、2025年度見込み比-0.6%と予測する。
電装品	2026年度は、自動車の生産台数は伸びないとみるが、CASEの進展で電線需要は増加、2025年度見込み比+1.1%と予測する。
自動車	2025年度は、認証不正等に伴う供給制約の解消で回復基調にあった自動車の生産台数が米国関税等の影響もあり微減とみる一方で、自動車1台あたりの電線使用量は増加傾向にあり、2024年度比+0.5%と見込む。 2026年度はHEV需要等の好要因もあるが、米国関税の価格転嫁による需要減速、現地生産シフト、デフレ圧力の強い海外製品との競争などで国内の自動車生産台数は減少と見込む。ただし1台あたりの電線使用量は増加傾向にあり、2025年度見込み比+1.0%と予測する。
建設・電販	2025年度は、大型、中小案件共に需要は堅調だが、人手不足、建設費高騰で施工の長期化、また中止等により、2024年度比-3.7%と見込む。 2026年度は、引き続き需要は底堅いが、建築費高騰や人手不足による施工の長期化等が継続し、2025年度見込み比-0.2%と予測する。
その他内需	2026年度は、民間備投資が好調に加え、モーター向けを中心とした間接輸出や鉄道向けが増加、2024年度比+4.3%と見込む。 2026年度は、設備投資需要の増加を見込み、2025年度見込み比+2.4%と予測する。
輸出	2025年度は、世界的な電力需要により超高压ケーブルを中心に底堅い需要があり、2024年度比+0.6%と見込む。 2026年度は、金融引き締めの影響や、地政学的リスク等懸念材料も存在するが、中長期的に電力需要の伸長、脱炭素化への再生可能エネルギー、電力安定供給等世界的に送配電網投資は堅調に推移するものとして、電力ケーブルの需要は増加、2025年度見込み比+6.3%と予測する。

以上

表1

2026年度電線需要見通し

(総括表)

2026年3月

単位:千トン

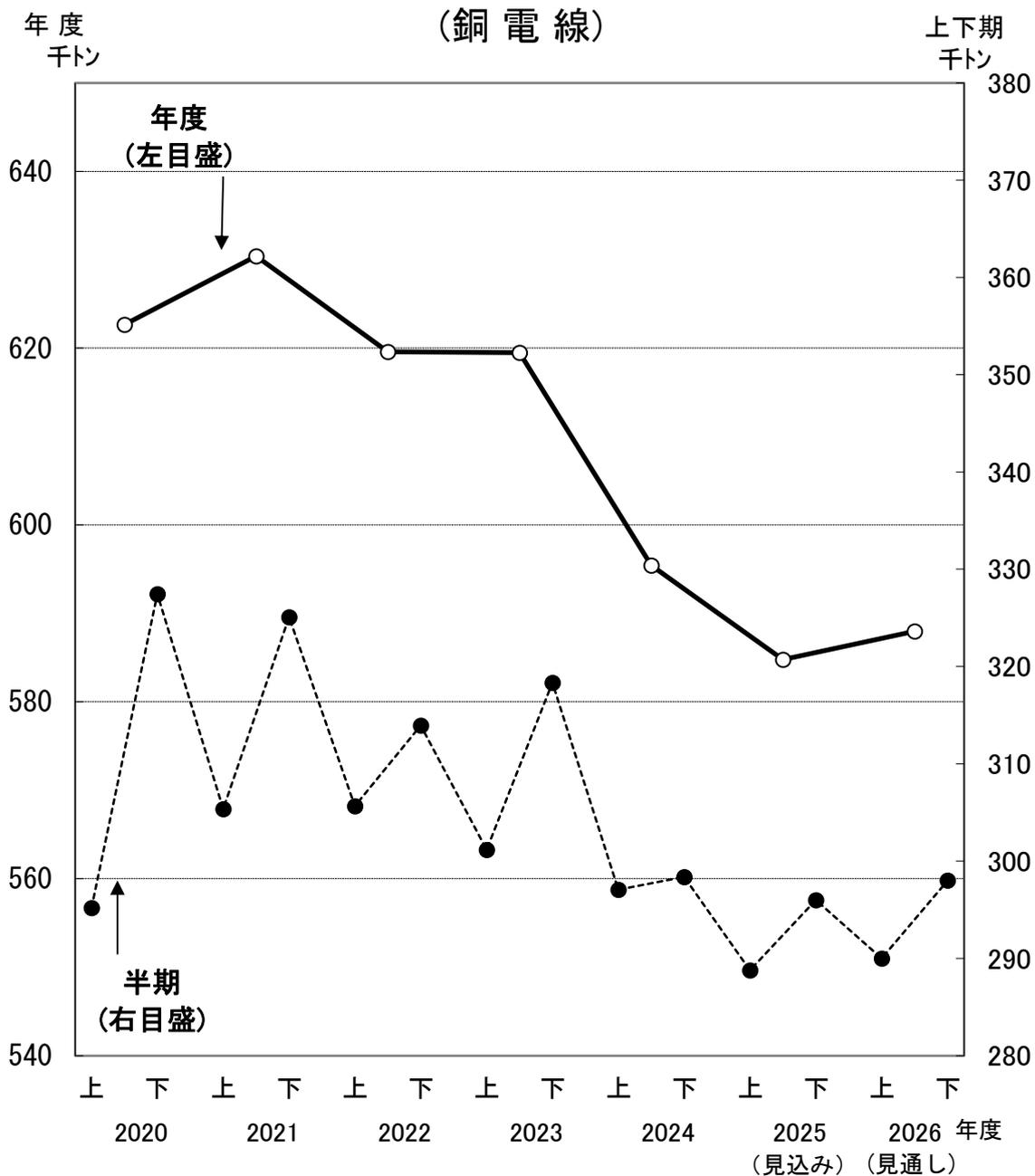
区 分 年 度		出 荷			
		銅 電 線		アルミ電線	
		実績及び見通し	前年度比	実績及び見通し	前年度比
			(%)		(%)
2019 (実績)		694.2	-0.5%	31.0	3.6%
2020 (実績)		622.6	-10.3%	31.9	2.8%
2021 (実績)		630.4	1.2%	26.4	-17.0%
2022 (実績)		619.6	-1.7%	22.3	-15.5%
2023 (実績)		619.5	0.0%	26.6	19.2%
2024 (実績)		595.4	-3.9%	24.2	-9.3%
2025 実績 見込み	上期	288.8	(-2.8%)	12.6	(6.9%)
	下期	296.0	(-0.8%)	13.0	(5.3%)
	計	584.8	-1.8%	25.6	6.1%
2026 見通し	上期	290	(0.4%)	13	(3.0%)
	下期	298	(0.7%)	13	(0.0%)
	計	588	0.6%	27	5.4%

[KN260316]

- (注) 1. ()内は前年同期比を示す。
 2. 四捨五入のため計と合わない場合もある。

出荷推移表 (銅電線)

2026年3月



2026年度電線需要見通し (主要部門別)

2026年3月
単位:千トン

年度 期 部門		出 荷								
		2024 (実績)	2025(実績見込み)			25/24 (%)	2026(見通し)			26/25 (%)
			上期 (実績)	下期 (見込み)	計		上期	下期	計	
通 信	7.6	3.2	3.3	6.5	-13.7	3	3	6	-7.9	
電 力	(17.8) 41.3	(9.9) 20.4	(9.8) 21.5	(19.7) 41.9	(10.7) 1.3	(10) 21	(10) 22	(20) 43	(1.6) 2.7	
電気機械	115.7	57.2	56.5	113.7	-1.7	57	57	114	0.3	
重電	15.7	/	/	15.6	-0.4	/	/	16	2.3	
家電	9.6	/	/	8.6	-9.9	/	/	8	-7.5	
電子・通信	22.1	/	/	22.1	0.1	/	/	22	-0.6	
電装品	50.2	/	/	49.4	-1.5	/	/	50	1.1	
その他	18.1	/	/	17.8	-1.3	/	/	18	1.0	
自 動 車	91.7	46.3	45.8	92.1	0.5	46	47	93	1.0	
建設・電販	283.1	133.6	139.0	272.6	-3.7	134	138	272	-0.2	
その他内需	(6.0) 42.1	(2.6) 22.6	(2.9) 21.3	(5.5) 43.9	(-8.6) 4.3	(3) 22	(3) 23	(6) 45	(8.7) 2.4	
内 需 計	(23.8) 581.4	(12.5) 283.3	(12.7) 287.4	(25.2) 570.7	(5.8) -1.8	(13) 283	(13) 290	(26) 573	(3.2) 0.4	
輸 出	(0.3) 14.0	(0.1) 5.5	(0.3) 8.6	(0.4) 14.1	(28.2) 0.6	(0) 7	(0) 8	(1) 15	(136.4) 6.3	
合 計	(24.2) 595.4	(12.6) 288.8	(13.0) 296.0	(25.6) 584.8	(6.1) -1.8	(13) 290	(13) 298	(27) 588	(5.4) 0.6	

(注) 1. ()内はアルミ電線を示し外数。

[KN260316]

2. 四捨五入のため計と合わない場合もある。